

## 日本公衆衛生看護学会による公衆衛生看護関連の用語の定義（新旧対応表）

現行 2014. 4	改定案 2024. 5. 18
<p>《公衆衛生看護の定義》</p> <p>公衆衛生看護の対象は、あらゆるライフステージにある、すべての健康レベルの個人と家族、及びその人々が生活し活動する集団、組織、地域などのコミュニティである。</p> <p>公衆衛生看護の目的は、自らの健康やQOLを維持・改善する能力の向上及び対象を取り巻く環境の改善を支援することにより、健康の保持増進、健康障害の予防と回復を促進し、もって人々の生命の延伸、社会の安寧に寄与することである。</p> <p>公衆衛生看護は、これらの目的を達成するために、社会的公正を活動の規範におき、系統的な情報収集と分析により明確化若しくは予測した、個人や家族の健康課題とコミュニティの健康課題を連動させながら、対象の生活に視点をおいた支援を行う。さらに、対象とするコミュニティや関係機関と協働し、社会資源の創造と組織化を行うことにより対象の健康を支えるシステムを創生する。</p>	<p>《公衆衛生看護の定義》</p> <p>公衆衛生看護の対象は、<u>社会を構成するすべての人々とコミュニティである。対象には、あらゆるライフステージ・健康レベルにある個人と家族、および<u>集団、組織、地域などのコミュニティを含む。</u></u></p> <p>公衆衛生看護の目的は、<u>社会的公正と人権・自律の尊重、健康と安全の保障を規範として、対象の健康に資する能力を高め、取り巻く環境をより良くし、健康の保持増進とQOLの向上、および人々の疾病や障害の予防と回復を促進することである。これにより、健康格差のない安寧な社会の実現に寄与することを目指す。</u></p> <p>公衆衛生看護は、<u>個人や家族、コミュニティを連動させた</u>系統的な情報収集と分析により、<u>健康課題を明確化もしくは予測して、対象の生活に視点をおいた支援を展開する。また、健康に資するマネジメント、対象を含む関係機関との協働、社会資源の開発、システムの構築及び、実践や知見に基づくエビデンスの活用・創出を通じて、対象の健康とQOLを支える社会を創生する。</u></p>
<p>《公衆衛生看護学の定義》</p> <p>公衆衛生看護学とは、公衆衛生看護実践の向上に寄与する知識、技術、規範並びに理論の生成やその発展について考究する学問である。</p>	<p>《公衆衛生看護学の定義》</p> <p>同左</p>
<p>《保健師の定義》</p> <p>保健師とは、国家資格である保健師の名称を用いて公衆衛生看護の目的を達成しようとする者をいう。</p>	<p>《保健師の定義》</p> <p>同左</p>